

合併 Information

第8号

『ガッペイ
インフォメーション』
合併に関するさまざ
まな情報をお知らせ
します！

<http://www.iynkft-gappei.jp/>

3

2005
MARCH

最終号

市章図案決定！

ファイル(F) 編集(E) オブジェクト(O) 文字(T) 選択(S) フィルタ(L) 効果(C)

新『伊予市』市章図案が決定しました！



最優秀賞

しぎ まさあき
信貴正明さん
(新潟県 41歳)

デザインの趣旨

「い、よ」の文字を元に豊かな緑や海などの自然や太陽、人々が未来へ躍動する姿を「無限大∞」の形に重ね合わせて表現したもの。伊予市がさらに発展、飛躍していく姿を表している。

Contents

今回お知らせの内容

第13回合併協議会開催！
「合併協議会の廃止について、他」 P2

新『伊予市』市章図案決定！
「入賞作品の紹介」 P3-4

合併協議会事務局から P4

合併協議会事務局

799-3114 伊予市灘町3 6 3 番地

TEL 946-7202 FAX 946-7203

Mail info@iynkft-gappei.jp

URL <http://www.iynkft-gappei.jp/>

合併協議会の廃止

ファイル(F) 編集(E) オブジェクト(O) 文字(T)

新市誕生に伴い、3月末日で合併協議会解散！

4月1日新市発足に伴い、伊予市・中山町・双海町合併協議会は役割を終えることとなりますので、3月31日をもって解散することになりました。

また、この合併Informationも今回で最終号とさせていただきます。1年足らずの期間でしたが、ご愛読いただき誠にありがとうございました。

終わりに、温かく見守っていただきました住民の皆さまに心からお礼を申し上げます。



第13回合併協議会 会議概要

2月18日(金)午後3時30分から中山町農業総合センターにおいて、第13回合併協議会を開催しました。会議概要は次のとおりです。



◇報告

市町の廃置分合に係る総務大臣告示について

次のとおり総務大臣告示がありました。

○総務省告示第五十号
市町の廃置分合
地方自治法(昭和二十二年法律第六十七号)第七
条第一項の規定により、伊予市、伊予郡中山町
及び同郡双海町を廃し、その区域をもって伊予市
を設置する旨、愛媛県知事から届出があったので、
同条第六項の規定に基づき、告示する。
右の処分は、平成十七年四月一日からその効力
を生ずるものとする。
平成十七年一月十七日
総務大臣 麻生 太郎

20日に廃置分合の愛媛県知事決定がされ、平成17年1月17日に総務大臣告示がされたことから平成17年4月1日に新「伊予市」が発足することが正式に認められました。そのため、平成16年4月1日に設置した伊予市・中山町・双海町合併協議会は、その役割を終えることとなりますので、平成17年3月31日をもって、関係する市町議会の議決を経て廃止します。

◇報告

報告第17号 新市の市長職務執行者について

○新市の市長職務執行者

平成17年4月1日から伊予市、中山町、双海町を廃し、その区域をもって伊予市を設置することに伴い、新市の市長が選挙されるまでの間、中山町長の市田勝久氏が市長職務執行者としてその職務を暫定的に行うことになりました。

報告第18号 市章の選定結果について

平成16年12月1日から平成17年1月7日にかけて、新『伊予市』の市章デザインを募集したところ、全国から689作品の応募がありました。地域別応募状況は次のとおりです。

○応募件数内訳

	件数	率(%)
3市町	338	49.1
愛媛県内	73	10.6
愛媛県外	278	40.3
合計	689	100.0

そして、美術・デザインの専門的知識を有する方々で構成する「市章選考スタッフ会議」を設置して、市章図案候補作品を5点まで絞り込み、他の自治体等のマークや登録商標等に類似がないか調査をしたうえで、合併協議会委員の学識経験者と美術・デザインの専門的知識を有する方々で構成する「市章選考委員会」において、最終選考を行いました。その結果、全会一致で次の市章図案に決定しました。

◇議案

議案第14号 伊予市・中山町・双海町合併協議会の廃止について

伊予市、中山町及び双海町の合併に関する協議及び新市建設計画の作成が完了し、平成16年12月

新『伊予市』市章図案が決定しました！

○最優秀賞（採用作品） 作者：信貴正明さん（新潟県 41歳）

【デザインの趣旨】

「い、よ」の文字をモチーフに豊かな緑や海などの自然や太陽、人々が未来へ躍動する姿を「無限大∞」のフォルムに重ね合わせて表現。「ひと・まち・自然が会^くう郷」新伊予市がさらに発展、飛躍していく姿をシンボライズしました。

＜講評＞

この作品は、全体を囲む線がリボンが流れるようなリズムを感じさせ、躍動感がある。また、その形は「無限大∞」とともに新伊予市の地形もイメージさせて、輝く未来へと向かう勢いのあるデザインである。山、海、太陽のイメージも分かりやすく、モノクロにした場合にもトーンに変化があり、楽しいデザインとなっている。



○優秀賞（4 作品）

【デザインの趣旨】

伊予市の「い」の文字を図案化し、3 市町の合併数を伊予灘に、円のオレンジを伊予柑をイメージしたもので、豊かな自然に育まれた環境の中、共生する人々の伸びやかな心安らぐ出会いのまちを表現した市章。

＜講評＞

この作品は、のびやかで動きがあるデザインである。オレンジの円や三本の青い線がアクセントとなり、さわやかさを強調している。また、波を立てることで、未来へ向かっていく力強さも感じさせる。モノクロにしても、変化があり印象は変わらないデザインである。



作者：北野公一さん
（和歌山県 60歳）

【デザインの趣旨】

全体の形は伊予市の「伊」です。ブルーとグリーンは豊かな海と大地を、オレンジは太陽と市民の情熱（まち）を表現しています。人と人、人と自然の交流を表し、「ひと・まち・自然が会^くう郷」のイメージです。

＜講評＞

この作品は、漢字の「伊」を見事に簡略化している。やわらかく動きもあり、全体としてもまとまりが感じられる。海のブルー、太陽のオレンジ、大地のグリーンがきれいに合わさっているのが良い。モノクロの場合、やや単調になる。



作者：田中博士さん
（愛知県 48歳）

【デザインの趣旨】

伊予市の「い」をモチーフに「ひと・まち・自然が会^くう郷」をイメージ、躍動する人で「伊予市」の飛躍する姿と 1 市 2 町の合併と交流を表し、文化・産業・豊かな自然に恵まれたまちを表現しました。

＜講評＞

この作品は、「い」をモチーフにまとめられている。3 色が折り合い 1 つの丸い形を作ること、合併するという、いいイメージを表現している。やや硬さもあるが、多くの人に好まれやすいデザインである。



作者：中島 厚さん
（群馬県 73歳）

【デザインの趣旨】

市名頭文字「イヨ」をモチーフに三市町が合併、誕生する新「伊予市」を「ひと・まち・自然が会^くう郷」をイメージにデザインするとともに、「融和、団結、雄飛発展」の輝く未来を親しみやすくシンボライズしたものです。

＜講評＞

この作品は、前進する、はばたくというイメージを強く感じさせる。やや硬い感じではあるが、力強さがある。モノクロにしても印象は変わらないデザインである。



作者：長澤竹四郎さん
（岩手県 68歳）

○特別賞(3作品)



多数のご応募
ありがとうございました!



郷

第8号

「ガッペイ・インフォメーション」2004.vol.8
平成17年3月1日発行
編集・発行 伊予市・中山町・双海町合併協議会事務局 ☎ 799-3114 愛媛県伊予市灘町363番地
089-946-7202 FAX 089-946-7203 mail: info@iynkft-gappei.jp URL http://www.iynkft-gappei.jp/



作者：森 直衛さん
(宮城県 84歳)

《講評》

この方は、84歳の高齢（応募者全員の中で最高齢）にもかかわらず、11点もの作品を送付して下さいました。それぞれのデザインもしっかりとした意図を持って考えられたもので、着色もていねいである。



作者：大西美沙希さん
(伊予市11歳)

《講評》

この作品は、伊予市在住の小学5年生の女の子が、伊予市の灯台を外枠にし、中に双海町の海、中山町の山を入れ、3市町が1つになったイメージのデザインである。



作者：村上 祐太さん
(松山市18歳)

《講評》

この作品は、「イヨ」という文字を形に取り入れ、全体として、まとまりのある作品になっている。形は人の顔にも見え、ユーモラスな楽しさも感じられる。パソコンを用いた応募作品が多い中、高校生ながら、マスキングをして彩色しており、その仕事の正確さは、評価に値する。

受賞されたみなさん、本当におめでとうございます。入賞された方々には直接ご連絡させていただきます。

今回採用となった市章図案は、新市が発足する4月1日に伊予市の新しい市章として制定し、市の旗、職員の記章、公共施設の看板、市広報紙、封筒、各種パンフレットなどに広く使用されます。市内の随所でこのマークを目にされると思いますが、住民のみなさまには末永く親しんでいただきますよう、よろしくお願いいたします。

《合併協議会事務局からひとこと》

平成16年1月8日に伊予市・中山町・双海町の合併推進のため、各市町から11人の職員が集結し、全員が一丸となって合併協議会の運営、合併に伴うさまざまな協議事項の調整等に追われ、あっという間の一年でした。

新『伊予市』誕生という歴史的な局面に携わることができ、大変貴重な体験ができましたこと、事務局職員一同感謝しております。

また、住民のみなさまには、これまでに多大なるご理解とご協力をいただき、温かく見守っていただきました。厚くお礼を申し上げます。

今後は、新「伊予市」の職員として、「ひと・まち・自然が^く会^ふ郷」を目指したまちづくりにがんばりたいと思います。

今後とも新「伊予市」を末永くご愛顧いただきますようお願い申し上げます。

最後に、合併インフォメーションも今回をもって最終号とさせていただきます。ご愛読いただき、誠にありがとうございました。